

五月サロン (4・5月)

(ふれあい会食は行っていない)

見ても愉快的チンドングループのみなさんの、元気な歌声が会場内に響きわたりました。



サククスとギターで、みなさんのよく知った曲や、懐かしい曲を演奏していただき口ずさみました。



ふれあいサロン陽だまり ボランティア交流会

「ふれあいサロン陽だまり」のボランティアさんで交流会を行いました。日ごろ参加される皆さんから次のようなお手紙をいただき、笑顔いっぱいの交流会となりました。



私、約六年前にひどいうつ病になりました。身体が思うように動かない、歩けない、何もしたくない。心療内科に通いながら、どうしたら子どもに迷惑をかけることなく元気になれるか、と思う毎日でした。

そんなある日、ある方に心の内を話したら、『陽だまり』というところがあるので、一緒にいってみませんか?と誘ってくださいました。はじめて『陽だまり』に向かった日。行くまでも大変。歩けない足を一步、一步前に!着くまでどれだけ休んだでしょう。ボランティアさんに知った人がおられたのですが、『どうしたの?なにがあつたの?』といわれても、何も言えず黙ったまま時間は過ぎていきました。帰る時に、机に飾ってあつた花をそつと持たせ、背中をなでて、『前に進もうね!待っているからまた来てね』とにつこり言ってくれました。とてもうれしかったです。

通い続けるうちに、少しずつ心を開けるようになり、ほかの利用者さんとも話ができるようになりました。あ、自分は一人ではない!と感ずることができるようになりました。みんなに甘えることも大切なんだと教えてもらった気がします。コロナ禍の時も利用者同士で「なんか淋しいネ、早く『陽だまり』が開いてくれないかなあ」と話をしたり、「独り暮らしの方は特に『陽だまり』があるおかげで元気でいられるネ!」と話しています。今の私は「陽だまり」がある日は「陽だまり」に行き、ない日は仕事に行けるまで元気になりました。

子どもには、『陽だまり』のおかげで、ばあちゃん元気になったね!『陽だまり』を大切にしないと!と言われています。ボランティアさんは大変だと思いますが、これからもよろしくお願いします。感謝! K・K